



堂本ハルの詞



(第1巻)

堂本ハル

目次

堂本ハルの詞（第1巻）

1.花見

2.涙

3.見よう

4.寂しくない

5.全力

1.花見

「花見」 堂本ハル

花を眺めて楽しむ

花を見ながら 人と話して楽しむ

花を見ないで 酒を飲んで楽しむ

わいわい がやがや

人それぞれだけど 花見は楽しい

桜の木の下で 春を感じる

あなたの心の桜は満開でしょうか？

2.涙

「涙」 堂本ハル

人はどうして 涙流すのだろう

どうして泣くんだろう わからないよ

それを言ったら どうして生きてるのかもさえわからない

どうして生まれたの どうして生きているの

人は何のために生きているの

地球は何であるの

これ以上は言わないよ

3.見よう

「見よう」 堂本ハル

前ばかり見ても だめだよ

たまには後ろみよう 振り返ってみよう

何かあるかもしれないから

何かわかるかもしれないから

さあ勇気を振り絞って

何かを 目指して

何かを 求めて

見よう

4.寂しくない

「寂しくない」 堂本ハル

夜景見ながら 家に帰る

ただいま 誰もいないけど

でも寂しくない 自分がいるから

もしも自分がいなくなったら

自分はどんなに悲しむだろう

5.全力

「全力」 堂本ハル

最後の希望が 取り乱して

牙城が崩れても

諦めるな 最後まで

何かが起こるかもしれないから

全力でやれば 後悔しない

もし夢から出ることができたら

眠りついた町を 起こしに行こう

おいしい空気を吸って

永遠へ